



## 「食」でつながる福岡と松浦 ～イタリアンだとうなる!～

福岡事務所では、9月25日・26日、福岡市を中心に活躍するフレンチ・イタリアンのシェフ集団「NPO 法人博多ミラベル21」とともに、「第2回食の産地観光交流」を行いました。

1日目は、車海老、釜あげちりめん、ハーブ鯖、青島かまぼこなど、松浦食材の生産・加工現場を訪ね、2日目の調理実演では、それらの食材を使った「釜あげちりめんのピザ」、「松浦産車海老と白いんげん豆のサラダ」など、一般家庭でも調理できるメニューを紹介し、生産者や観光関係者との交流を深めました。

来年2月には、「食でつながる福岡と松浦」をテーマに、これまで福岡市内で開催していた「松浦市ファンクラブ交流会」を松浦市内で開催する予定です。



▲松浦市生涯学習センターでの調理実演&試食会



◀松浦産食材を使ったイタリアンのメニュー（一般家庭向け）

### 問合せ先

松浦市福岡事務所  
☎ 092-406-2180

✉ matsura.f@city.matsuura.lg.jp



## 松浦市の**創業者**たち

No.4



### 雑貨屋 komorebi



創業：平成 28 年 11 月 29 日  
業種：小売業  
所在地：松浦市志佐町里免 160-4  
(松浦幼稚園そば)  
営業時間：10:00～16:00  
(店休日 日曜・祝日)  
電話番号：0956-76-7418



komorebi.zakka

#### ◆◆こんなお店です◆◆

親子3人が雑貨好き、ハンドメイドが趣味だったので、アクセサリ、布小物、編み物や生活雑貨を販売する雑貨屋をはじめました。プレゼントとして、アクセサリや出産祝いのオムツケーキ、どんぐり帽子等が人気です。

11月27日からオープン1周年の感謝を込めて、素敵なプレゼントもご用意いたします。お求めやすい価格で色々な雑貨を取り揃えていますので、一度お店に足を運んでみてください。詳しくはフェイスブックをご覧ください。

#### ◆◆創業者から一言◆◆

以前は、ハンドメイド雑貨をイベントや委託で販売していました。いつかは自分達のお店を持ちたいと思っていましたが、夢が叶い昨年オープンすることができました。

今は退職した母の生きがいにもなっています。もともとは佐賀の出身ですが、松浦を盛り上げたいと思っていますし、地元の方々に愛され、沢山の人に來てもらえるお店にしたいです。



▲矢岳麻美さん(左、長女)、吉永かすみさん(中央、母)、本田有希さん(右、次女)

松浦市では、商工会議所・商工会・金融機関と連携して「自分らしい創業」を支援しています。自分ができることから始めてみませんか!

また、Uターン者の就職支援も行っています。お気軽にご相談ください。

問合せ先 商工振興課 商工振興係 ☎内線 243

## My brother's Visit 兄の訪問



パトリック・マグワイヤ  
Patrick Maguire  
オーストラリア出身

こんにちは！  
外国語指導  
助手です。



海外に住んでいて楽しいことの一つは、自分にとって第二の故郷となったまちを紹介し、家族に新しい経験を提供できることです。

松浦に住んで6か月が経った頃、最初にやって来たのは、両親でした。よくいなくなるし、質問ばかりするし、お店の商品を勝手に触るし、まるで3歳児をお守りするように両親の世話をしました。両親の言い訳はいつも、"it was all payback for when you were a child"(全ておまえが子どもだった時のお返しだよ)でした。息子として、両親が子どものように日本での休暇を楽しんでいる様子を見ることができて、嬉しかったです。

そして、9月のはじめにやって来たのは、私の兄のアンドリューです。兄と会うのは、2年半ぶりでした。福岡空港に迎えに行き、大宰府天満宮を参拝し、とんこつラーメンを食べ、車で松浦に向かいました。車中では互いの近況を報告し合い、日本での生活について話をしました。

松浦では、兄を夕食に連れ出し、友達に紹介しました。私と兄は食べ物の好き嫌いがなく、初めての食べ物も喜んで挑戦するところが似ています。本物の新鮮な刺身、寿司、鰻、天ぷら...オーストラリアで食べる日本食よりもずっ

と美味しいです。兄は目の前に出された全ての料理を堪能し、日本酒も気に入ったようでした。

また、タイミングよく私の職場である松浦高校の文化祭にも連れていくことができました。

文化祭では、茶道を経験して本物のお抹茶をいただいたり、生徒たちの作品に感銘を受けたり、ラムネを開けることを楽しんだり、たくさんの写真を撮ったり、最初の日本語「おいしい」を覚えました。(ちなみに、2番目の日本語は「カッコいい」の意味を理解しました。)

松浦滞在は、4日間でしたが、兄が最も気に入ったことが、まちが平和で穏やかに時間が過ぎていることでした。この静かな世界の片隅が大好きになったようです。また、多くの人々が優しく歓迎してくれたこと、兄が素晴らしい休暇を過ごすことと旅の安全を祈ってくれたことが嬉しかったです。

Next time it's my turn to visit him in Hong Kong, I'll have to take plenty of 松浦のおみやげ。(次は、私が香港にいる兄を訪問する番です。その時は松浦のおみやげをたくさん持っていかないといいけませんね。)



※翻訳の際に原文が含まれています。 ▲兄と文化祭を楽しむ



図書館の  
おすすめ

BOOK  
本

市立図書館  
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで  
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)



### 『虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡』

小松成美/著 幻冬舎

国内チョーク製造で高いシェアを誇る川崎市の町工場。この工場の特徴は、働く社員の7割が知的障がい者であること。本書は、障がい者雇用の先駆者である大山泰弘氏の挑戦と、前例のない経営に全力を注いだ家族、そして社員の家族の想いを丁寧に描いた1冊です。



### 『単位がわかるメートルのえほん』

カワ303/編著

松川ゆかり/装丁・本文デザイン  
小池菜々恵/イラスト ほるぷ出版

「メートル」や「リットル」といった単位は、具体例がなければ実感することが難しいものです。本書は小学2年生で学ぶ「メートル」を、身近なものでイメージできるように工夫をこらした写真絵本。バスなどで使うICカードから、はては宇宙までを「メートル」で体感できますよ。

### 図書館のなぞ⑥ 「返却ポスト」はどこにある？

「本を返しに図書館に来てみたら休館日だった…」「休館日でも返却できるって聞いたけど、どこに持っていけばいいのかな？」

松浦市立図書館(きらきら21)では、開館時間内に来館できない人が返却できるように返却ポスト(返却口)を設置しています。ポストの場所は、正面玄関の右手で、きらきら21が閉館していても利用できるように、外壁に備え付けられています。

館内にある緑色のボックス(右の写真)は、返却ポストではありませんので、ご注意ください。

《ポイント》

1. 返却ポストは館外にあります。
2. 中央公民館は返却窓口ではありません。
3. 紙しばいや大型の本はカウンターに直接ご返却ください。



▲小型家電回収ボックス